

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(5月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『わたしはあかねこ』

サトシン 作／西村敏雄 絵／ 文溪堂

対象：幼児（5歳くらい）から高齢者



内容のご紹介

今年も、満開の桜が私たちを楽しませてくれました。そして、戸津辺の桜には、県内外から約9,000人の方々が、訪れました。“今年も来ましたよ”と言われると私も嬉しくなります。

今月のご紹介する絵本は「わたしはあかねこ」です。ねこの家族の中で一人だけ赤いねこが生まれました。本人は、赤が好きで気に入っているのに、親や兄弟から、責められます。

でも、あかねこは、自分を大切にし、想いを見失うことなく、成長して行く物語です。

私達も子育ての中で、親の言う通りに子ども達は育ちません。子どもの個性を見出し、それぞれの環境を整えて、自信を持たせることが大切だと思います。“家読の一冊です。”

真っ白なしろねこかあさんと、真っ黒なくろねことうさんから生まれたのが、わたし、あかねこ。他の兄弟は、しろねこ、くろねこ、とらねこ、ぶちねこ、みんな白と黒でねこらしい模様。私だけ赤い色をしているから、お父さんもお母さんも、みんなが心配して同情ばかりする。私は、きれいで可愛い、この色が好きなのにな……。まわりと違うからということで、認めてもらえない。あかねこがとった行動とは？

紹介文／絵本ナビより抜粋

令和5年10月6日読み聞かせボランティアグループ手のひらの会の結成22年記念事業による「絵本作家サトシン」さんのおはなし会が開催されました。カンガルーくらぶ親子と矢祭中学校全生徒を対象に絵本の読み聞かせもあり、楽しいおはなし会となりました。その中から1冊ご紹介いたします。（矢祭もったいない図書）